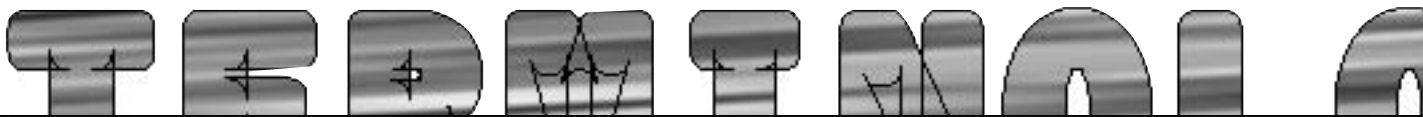


TERMINOLOGY of Internet



■ Gopher【ゴファー】

インターネットにおける分散型の情報提供システムであり、Gopher サーバーとGopher クライアントによって構成される。米ミネソタ大学で開発された。WWW サーバーとWWW クライアントの関係によく似ているが、Gopherではメニュー形式で情報の検索や取得を行う。メニューは階層構造になっており、下位のメニューを次々に選択して目的のファイルにたどり着く仕組みになっている。選択したメニューに他のGopherサーバーへのリンク情報(URL)が埋め込まれていると、そのサーバーにジャンプし、そこで再びメニューを選択するようになっている。すべてのGopherサーバーは理論的にはどこかで互いにリンクされており、1つの情報空間を形成しているように見えることから、これをGopherspace(ゴファースペース)と呼んでいる。Gopherはテキストベースのシステムであるが、TurboGopherなどのクライアントプログラムではグラフィカルインターフェイスを提供して操作性を改善している。情報提供の主役はWWWに移ってはいるものの、まだテキストしか処理できないホストも数多くあり、一定の役割を果たしている。ミネソタ大学のマスコットがジリス(gopher)であることから、「ものを取りに行く」という意味がgo farであることから、この用語が使われている。

■ TELNET【テルネット】

インターネットの標準プロトコルの1つ。手元のホストを端末として使い、遠隔地にあるホストにログインして直接操作できるようにする端末エミュレーション用プロトコル。FTPなど同じように、ツールの意味でも使われている。

■ ping【ピン】

Packet InterNet Groper(パケットによるインターネットの検索)の略。遠隔地にあるホストが存在(動作)しているかどうか、あるいは稼働しているかどうかを確認するためのプログラム。確認しようとするホストにpingパケットを送り、応答(マニアックにpong(ボン)パケットと呼ぶ人もいる)が返ってくればそのホストは動作していることになる。コマンドとして用意されているシステムもある。

■ vat【バット】

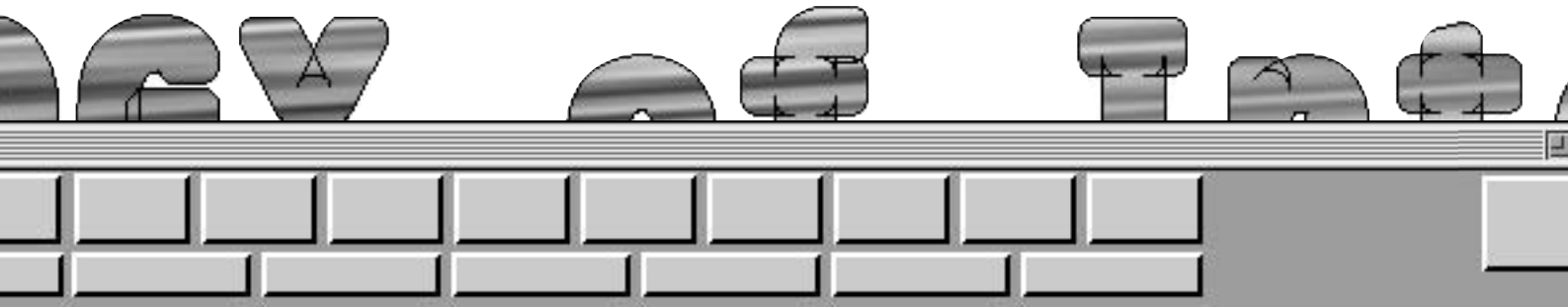
X11 Windowsベースの電話会議(audio conference)用ツール。1対1または1対多のホスト間で、音声の送受信をユニキャストまたはマルチキャストで行う。マイクロフォン以外にとくに必要なハードウェアはないので、ワークステーションでそのままvatを動作させることができる。

■ nv【エヌバイ】

X11 Windowsで動作するテレビ会議(video conference)用ツール。通信はユニキャストまたはマルチキャストで行うので、CU-SeeMeで使っているリフレクター(サーバー)に相当するものは存在しない。高速大容量の回線を必要とすることから、通信経路にはMboneを使う。そのためワークステーションや高速のルーターなどが必要であり、通常の設定ではnvを利用することはできない。ローリング・ストーンズがインターネットでコンサートを中継したことはよく知られているが、このときにnvが使われた。nvでは映像だけが送受信できないので、音声用のツールが別途必要になり、通常はvatとペアで使用される。

前回に続き、今回もインターネットツールを中心に解説しました。

E-mail to : ip-term@impress.co.jp



■ サーチエンジン【search engine】

情報検索システムのこと。インターネット上には膨大な情報が存在しているが、1箇所に集中しているわけではなく、世界中に分散している。情報の所在を調べるための手段として各種のサーチエンジンがインターネットでは提供されている。YahooやInfoSeekなどのWWWサーチエンジンでは、検索の対象となるホームページのURLやキーワードを登録し、検索用のインデックスを作成している。登録は、通常、ホームページの管理者からの電子メールの送付あるいはサーチエンジンのホームページに用意されている書式への入力によって行われるが、WWWロボットと呼ぶプログラムによって各WWWサーバーを「訪問」し、自動的に登録しているサーチエンジンもある。ArchieサーバーやWAISサーバーもサーチエンジンの一種にあたる。

■ finger【フィンガー】

ある特定のホストに接続しているユーザーについて、そのユーザーのフルネーム、最後にログインした日時などの情報を入手するためのプログラム。たとえば、「finger taro@impress.co.jp」と入力すると、インプレス社のホストにアカウントを持っているtaroという文字列を含んだユーザー(ichitaroなど)について知ることができる。UNIXなどでは、コマンドとして用意されている。

■ IRC【アイアールシー】

Internet Relay Chat(インターネットリレーチャット)の略。ネットワーク上でテキストによる会話をリアルタイムで行うためのシステム。IRCクライアントを使ってIRCサーバーにログインし、特定の話題(トピック)について議論したり、おしゃべり(chat)を楽しんだりする。会話は公開することもできるし、内密にすることもできる。機能上は電話を使ったパーティーラインによく似ている。

■ ゲートウェイ【gateway】

一般的には、ネットワーク間の中継を行う装置やプログラムのことをいう。異なるプロトコルを使用しているネットワークの間でプロトコルを変換するプログラムのことを、プロトコルコンバーター(protocol converter)として区別することもある。異なったシステム(例:WWWサーバーとデータベース)の間を仲介するプログラムを広い意味でゲートウェイと呼ぶこともある。

■ Archie【アーチ】

各ホストに格納されているファイルを自動的に検索してインデックスを作成し、それをデータベースとして提供するサービスのこと。おもにanonymous FTPサイトに格納されているファイルの名前をデータベースにしている。このデータベースをArchieサーバーと呼び、通常は200万以上のファイルのインデックスが格納されている。Archieサーバーを検索することによって、目的のファイルが存在する場所(サイト)を簡単に探し出すことができる。検索はArchieクライアントプログラムで行い、ファイルの取得にはFTPツールを使う。NetscapeなどのWWWブラウザでもArchieサーバーを検索できるが、この場合はゲートウェイサービスを利用する。電子メールの送付やTELNETによるログインでもArchieサーバーを利用することができる。日本では、WIDEプロジェクトがArchieサーバーを管理している。Archieはarchie(保管する)に由来する。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp